



## みんなのできる 地球温暖化防止活動

—ごみの削減を目指し、仲間と推進員活動をしています!!—

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

### ■キエーロ

福島市の市政だより『ふくしま』の6月号の表紙を飾ったのは、福島県地球温暖化防止活動推進員の安齋由(ゆか)さんです。「キエーロで生ごみを消そう!!」生ごみゼロチャレンジとあり、キエーロをニコニコ顔で使っている安齋さんの写真が大きく掲載されました。キエーロとは、土中の微生物の力を借りて、生ごみを分解し消滅させるシステムです。「毎日の生活の中で出る、燃えるごみの4割は生ごみです。キエーロを使うと、生ごみのほとんどを「消滅」できます。興味を持ちましたら、福島市ごみ減量推進課☎024-525-3744へ連絡してみてください。」

### ■推進員になったきっかけ

2022年に「プラスチックの海」、23年には「マイクロプラスチックストーリー」という映画を、仲間と実行委員会をつくりフォーラム福島で自主上映しま

した。そのころ、福島県地球温暖化防止活動推進員養成研修会のことを知り、受講して委嘱申請し、22年に推進員になりました。「福島市から研修会の開催地郡山まで行くのは、大変でした。」荒川クリーンセンターや大館山一般廃棄物最終処分場の見学を通して、ごみ問題への関心を深めたと言います。

### ■「福島のごみ減量を考える会」

安齋さんは、自主上映の実行委員会の仲間たちと、24年7月20日に「福島市のごみ減量を考える会」を設立し、その代表に就任しました。「令和4年度、福島市の市民1人が1日当たり出すごみの量は1,080グラムで、全国でワースト13位です。この現状を考えると、持続可能な未来への身近なアクションはごみの減量です。」

### ■みんなのできる地球温暖化防止活動

ごみ減量を考える会では、渡利学習センターで食品ロス削減クッキングの開催、ガーデンマルシェでポジット(預り金)制のリユース食器利用を初めて試みました。「私たちの活動を、仲間の輪を広げるきっかけにしたいです。」

福島市農村マニユファクチャー公園「四季の里」の奥の水林自然林を歩くのが好きです。「木があり、水が流れ、鳥の声が聞こえて、自然豊かです。癒されま

す。」(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>